

F. S A A

SAA 石田 雅巳
副SAA 檜山 幸利
長谷川 太洋

《テーマ》

「行きたくなるなる」例会運営

《方針》

新型コロナウイルスの感染者減少とともに、社会活動は少しずつ「コロナ前」を取り戻しつつあります。次年度は「ウィズコロナ」を念頭に置いた例会運営へと軸足を移すことが肝要と考えます。

コロナ禍で各人が身に付けた「新しい生活様式」を基に、基本的な感染対策・生活習慣は継続しつつ、状況変化に柔軟に対応した例会運営、必要に応じた新たなルール作りに努めます。

各会員が安心して、かつ積極的にリアル例会に参加できるよう、またZ o o m参加の場合もスムーズな例会進行に協力できるよう努めてまいります。

《活動計画》

1. ウィズコロナでも「会員が集まる」例会へ

・片寄らない座席配置（くじ引き等）による会話促進 多くの方とコミュニケーションが取れるよう方法を考えます。

・基本的な感染対策は継続します。

（マスクの着用、手指消毒：アルコール消毒液の設置、検温：非接触型体温計の設置、健康状態の自己管理、体調不良時の出欠判断、座席の社会的距離確保等）

2. 「メリとハリ」

・次年度クラブ方針として、食事時間を12時からとし、例会前にできるだけお食事を済ませていただくよう、またご歓談はこの時間をお願いします。

・例会は12時30分から開始、1時間フルに行います。私語は慎み、集中して例会に臨まれますようお願いいたします。

・Z o o m参加者に音声・会場の画像が十分に伝わるよう、また発言者以外のミュート設定等、クラブ管理運営部門と連携します。

前任先輩にご心配をかけぬよう、また後任の方に確実に引き継げるよう

1年間、力を尽くしますのでご協力の程、よろしくお願いいたします。